

全国で活躍する上関町出身者(1)
歌手・瀬戸こうじさん
 (祝島出身)

今回より始まったこのシリーズは、ふるさと上関町を離れ、全国各地、さまざまな分野で活躍されている方々を取り上げて紹介する特集です。1回目の今回は、5月9日に祝島で「ふるさと凱旋」コンサートを開催する歌手・瀬戸こうじ(本名:河下正信)さんを紹介いたします。

◎「ニュー」のきょかげは?

昭和41年3月、15歳の春、東京へと職を求めて祝島を後にしました。



瀬戸こうじさん

東京に出た当初は、両親の写真や友の手紙を腕に抱き、枕を濡らした夜もありましたが、やがて友人も出来、仕事にも慣れて、いつの日か「故郷は遠くにありて思うもの」に変わっていききました。十数年前には、両親が相次いで他界し、同時に自分の戻るべき場所を失った気がしました。

そんな時、一つの詩が私の手元に届きました。読み終えたとき、熱いものがこみ上げて来ました。そして「私の故郷はここにあり」と、確信できました。それが『祝島讃歌』との出会いでした。50歳代も終わりの頃です。自分の人生を省みて、「このまま終わっていいのだろうか。何かやり残している」とは思わないのだろうか。」と

自問自答を繰り返して、「故郷のために何かしたい。そうだ、故郷のためにこの歌を唄おう。」という想いで『祝島讃歌』を唄う活動を始めました。

◎島での暮らしはどんな感じでしたか?

私は、昭和25年生まれです。戦後とは言え、まだまだ豊かというにはほど遠く、学校から帰ったら、山の畑で野菜の刈り入れ、みかんの荷出し、海に飛び込んで晩のおかずのアナゴやタコ獲り、そんな毎日でした。島が大好きでしたから、島を出るつもりはありませんでしたが、働き口を都会に求めることが、島の若者の宿命でもあり、当たり前前の時代でありました。

◎歌に込められた想いを聞かせて下さい

『祝島讃歌』

僕にとつての祝島

は、子ども時代の楽しい生活の場所であり、両親と親戚の住む島でした。何もかもが当然のように与えられたものだと思っていました。そんな漠然とした故郷への思いが『祝島讃歌』との出会いで変わっていききました。当たり前のように4年に一度迎えていた『神舞』に、千年以上も続く人の心と心のつながりの歴史があることを改めて学び、海の幸や山の幸の守り続けられた豊かな自然に囲まれていたことに感謝が生まれ、棚田や練堀を作り上げた強くたくましい生活があることを改めて見つめること



『祝島讃歌』
 作詞:西山博
 作曲:黒田英明
 編曲:山口正美

ができました。僕の中で祝島の再発見になり、いつしかそれらのことが誇りに感じられるようになりました。そして、この誇れるものを多くの皆様に知っていただきたいと思うようになったのです。

過疎化が進む中、現実に真っ向から立ち向かい、島を必死で守りつづけている島民の皆様がエールを送りたいと思う気持ちで、還暦を迎える年になった私の背中を押して、一歩前へ、歌手への決意となりました。

僕は『祝島讃歌』という歌と巡り合い、作詞、作曲の先生と巡り会い、人との関わりを大事にしていくことの大切さを今更ながらに感じています。

『望郷の空・東京』

僕のいる東京には、故郷を離れ、歯を食いしばり、いつか故郷へ帰りたいと思いながら働いている人がほとんどです。そんな皆さんにも、故郷の香りを感じていただけたら、郷愁を思い起こしていただけるような故郷応援歌を唄っていきたく思っています。『望郷の空・東京』は、僕の故郷を思う気持ちを詩として、書き下ろして頂いたもので、僕の人生物語でもあるんです。



『望郷の空・東京』
 作詞:冬夏
 作曲:松井タツオ

◎5月9日は久しぶりに故郷祝島でのコンサートですね

6年前『祝島讃歌』が生まれ、この応援歌を持って恩返しができるかと自己満足の域でしたが、このたび、故郷でのコンサ

ートの運びを頂き、『祝島讃歌』が多くの皆様に愛されていることを確信し、大変有難く思っています。故郷の皆様と触れ合い、喜びを分かち合い、明日への糧となる事を信じて、精いっぱい唄わせていただきます。

◎今後のステージ活動の予定は?

6月7日には、上関町に新しくできた総合文化センターでのイベントに出演が決まりました。8月には、東京・香取神社夏祭り。11月には、千葉カラオケ大会ゲスト参加、横浜ホテルディナーショーゲスト参加が決まっています。

その他、スナック等のイベント、ミニコンサート、クリスマスパーティー、カラオケ教室発表会ゲスト、組合等のイベント・秋祭りコンサートなど、主に関東での活動になります。が、山口県でも声がかければ戻ってきますので、ぜひご紹介ください。

◎瀬戸こうじさんのプロフィール

- ♪本名 河下正信(かわしたまさのぶ)
- ♪誕生日 昭和25年7月8日
- ♪出身地 山口県・上関町祝島
- ♪血液型 O型
- ♪所属 オフィス瀬戸
- ♪ファンレターの宛先 〒134-0015 東京都江戸川区西瑞江5-20-17
- ♪オリジナル曲 『祝島讃歌』、『男酒』、『望郷の空・東京』、『白く定期船』

※瀬戸こうじさんのCDは、祝島の「民宿へにひろ」や室津の「道の駅 上関海峡」、祝島ホームページの通販コーナーなどで販売されています。

◎「わいわいタイムス」6月号は6月7日(日)発行予定です。